

こさい太郎を励ます会、盛会

—多くの方々に支えられ、こさい太郎決意を新たに—

去る、三月十八日（土）、南青山会館にて「区政に新しい風を送る、こさい太郎を励ます会」が開催されました。当日は、余寒厳しく小雨の降る中、一五〇名を越す港区民・支援者の方々がご参加下さいました。若い支援者も多く来場し、こさいの人望をうかがわせると共に、明るく活気のある雰囲気の中、大盛会となりました。

会は、まず菅直人さん（さきがけ東京代表）が口火を切って応援スピーチに立ち、非軍事的国際貢献、国民のための効率のいい行政というさきがけの基本理念を述べた後、「マイタウンでなくなってしまう東京・港区をどうしていくのか。まちづくりは、短くても十年、長ければ二十年、三十年かかる大事業。こさい太郎君は二十五歳、今から始めれば必ずや可能なことだ。」とメッセージを頂きました。

続いて、宇佐美登さん（さきがけ東京代表代行・衆議院議員）、小野きみこさん（さきがけ東京副代表・新宿区議）からも応援のスピーチを頂きました。

また、こさい太郎の友人や後援者の方からも、これまでのお付き合いの中でのエピソードを交えながら、激励の言葉を頂きました。（下記参照）

心温まる、そして身の引き締まる言葉をみなさんに頂いた後、こさい太郎本人が決意の挨拶に立ち、『十三年の港区での生活の中で、地域社会と接点の少ないマンション暮らしの経験や人の住めない港区の現況を見てへ住み続けられる港区をつくりたい』と語り、『みなさんの声に耳を傾け、小さなことからでも実績を創れるよう頑張っていきたい』と決意表明を行ないました。

最後は縣博後援会長が「こさいは人の面倒をみたり、友情の輪を広げること、並々ならぬ力を持っている。港区のためにドブさらいでも、雑巾がけでもするこさい太郎を男にしてやって下さい。」と述べ、激励の拍手の中で会を終えました。

宇佐美登さん

二十五歳とは向こう見ずと言われるかもしれないが、すべては『思い』から始まる。『思い』を熱く秘めたこさい太郎をよろしく。

小野きみこさん

さきがけは、理想を掲げて政策で勝負する党。こさいさんは、若さだけに頼らず政策もある。『港区に若い人を呼び戻したい』という彼の思いは本物です。

内川直樹さん（こさい太郎先輩）

地域に密着し、地域の人々とよいつきあいのできる人物。

五十嵐毅さん（こさい太郎後輩、南青山六丁目在住）

青山に住む若者たちの代表として、こさいさんほど任せられる人はいない。

守屋実さん（こさい太郎友人）

今こそ若い力が必要。彼の力を生かしてやって欲しい。

林和子さん（南青山五丁目在住）

私の住むマンションの隣に、住民と工事の協定書を交わすことなく大蔵省の住宅が建つことになってしまいました。こさいさんはその行動力で緑だけは残してくれた。地域から世の中を変えていける、こさいさんをよろしく。

欠席された方のメッセージ

私はこさい太郎君の若い力に期待します。港区の皆様のお力で、こさい太郎君をお育て頂きますよう心よりお願い申し上げます。

武村正義さん

混沌とした日本の政治に新しい風を送るこさい太郎君を応援します。こさい君ならきっと、港区のみなさんのために働いてくれます。よろしく願っています。

嶋山由紀夫さん

社会は今、着実に変化しようとしています。そんな時、こさい太郎君のような行動力ある若い人材が必要です。今回は何えませんが、私はこさい君のためにいつでも応援に駆けつけるつもりです。

中村敦夫さん

アンケート調査活動報告

～ご協力ありがとうございました～

特集

昨年十月二十三日から三月二十二日まで実施いたしました『港区にお住まいのみなさまへの政治に関するアンケート』のデータを整理し、この度集計を終えましたので、この紙面の特集記事としてみなさまにご報告いたします。アンケートの結果はもちろんのこと、こさい太郎の感想やアンケート結果を踏まえた対談などを掲載しています。至らぬ点多いと思いますが、是非一読頂き、港区の現状をご理解頂ければ幸いです。

アンケート活動は港区内のお宅に直接訪問をし、質問にお答え頂く方式をとりました。但しご不在の際は、ポストに依頼状とアンケート用紙を投函し、後日郵送して頂きました。

その結果、二百九十五件（その内記名二百三件）の回答が集まりました。回答者の年齢も二十代から八十代までと幅広い層にわたっており多くの世代の方のご回答を得ることが出来ました。

回答頂いた結果を総括してみると『港区に住み続けたい』というみなさまの思いが、一目瞭然と読み取ることが出来ました。特徴的だったことには、阪神大震災発生後、港区の防災対策に対する不安を表す回答が増えた事が挙げられます。

また、ユニークな回答の中には、投票の基準を女性とする人、政治家の公約違反を監視する民間の機関の設立を求める声、政治家の定年制を採用すべきだといった意見がありました。

アンケート調査活動へのご協力、本当にありがとうございました

この度の活動は、誠に多くの方のご協力のもとに行なうことが出来ました。まず、アンケートの回答を頂いた港区民のみなさま、また、寒空の中を1件1件訪問しながら活動してくれた渡辺君、津久井君、林君、内田君、小勝君、金子君、そして、集計の際お世話になった海野さん、全ての方々にこの場をお借りいたしまして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

こさい太郎の総括

- 昨年の10月下旬より始めたアンケート調査の活動でしたが、去る3月22日をもってひとまず終了いたしました。当初は私1人の活動でしたが、年明けより、私の友人の協力で青山地域のほとんどのお宅に伺うことができました。結果をみる前に、活動を通して感じたことを、まず述べさせていただきます。
- 港区で政治活動を始めるにあたり、最初に手掛けたのがこのアンケート調査でしたが、私にとってはかけがえのない体験となりました。1件1件のお宅を訪問する中で、港区で生活していて感じられることや今の政治への非難から提言まで、さまざまなご意見を直接お聞きして、これこそ生の声であると実感しながら活動を進めることができました。これは、必ずや、今後の私の政治活動の基礎になると確信いたしております。みなさま、本当にありがとうございました。
- さて、集計結果をみると、やはり港区に住み続けたいと考えておられる方々が大変多いということを再確認することができました。その一方で、今後の港区の問題点に住宅・居住環境をあげておられる方も非常に多いのです。住み続けたいが、その不安も大きいという結果です。解決策としてみなさんが、政治家の行動力、政治・行政のさまざまな改革を大きく求められていることが顕著に表れています。
- この結果を踏まえ、私は若さを行動力に変え、この港区で精一杯活動していく決意を新たにいたしました。ともするとマンネリ化している港区の政治に新しい風を吹き込みたいと考えています。政治家だけでは『住み続けられるふるさと港区』を創ることはできません。みなさまのご指導やご支援を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

港区にお住まいのみなさまへの政治に関するアンケート集計結果

1 前回の港区議会議員選挙の投票に行きましたか

- ①行った 220 (74.6%)
- ②行かない 72 (24.4%)
- ③回答なし 3 (1.0%)

2 次回の港区議会議員選挙(1995年4月)への対応をお聞かせ下さい

- ①必ず投票する 153 (51.9%)
- ②多分投票する 93 (31.5%)
- ③わからない 36 (12.2%)
- ④多分投票しない 3 (4.4%)
- ⑤絶対に投票しない 0

2-1 (2で①, ②, ③を選択された方) 投票の基準をお聞かせ下さい(複数回答可)

- ①政策 143
- ②政党 83
- ③人柄 94
- ④候補者を知っている 35
- ⑤知人からの紹介、推薦 14
- ⑥その他 6 (女性だから、クリーンである)

2-2 (2で④, ⑤を選択された方) 投票に行かない理由をお聞かせ下さい

誰がやっても同じ 基準がわからない

3 港区議会では、国会や東京都議会とは別に、どのような仕事をしているのか知ってますか

- ①知っている 93 (31.5%)
- ②知らない 189 (64.1%)
- 回答なし 13 (4.4%)

3-1 (3で①と選択された方) どのようなことを行なっていますか

区報 地方行政 予算 福祉 住宅 教育
都市計画 環境整備 中小企業への補助金

4 港区にお住まいになって何年になりますか

5 今後、港区に住み続けたいとお考えですか

- ①はい 248 (84.1%)
理由 便利 緑が多い 安全 住み慣れてる
- ②いいえ 31 (10.5%)
理由 生活観がない 軽薄なイメージ
- 回答なし 16 (5.4%)

6 今後の港区の問題は何だと思われますか(複数回答可)

- ①住宅、居住環境 167
- ②自然環境、緑 57
- ③福祉 65
- ④教育 21
- ⑤地域コミュニティー 43
- ⑥ごみ、リサイクル 81
- ⑦交通 30
- ⑧防災 59
- ⑨その他 13

6-1 港区の問題点についてご自由にお聞かせ下さい

固定資産税が高い ごみの分別回収
定住人口の減少 防災対策がない
学校の小人数化 住宅地への企業進出
日用品を売る店が少ない

7 今の政治、政治家に最も求められているものは何ですか(複数回答可)

- ①クリーンさ 103
- ②実績 14
- ③若さ 25
- ④行動力 164
- ⑤リーダーシップ 57
- ⑥政策立案能力 87
- ⑦その他 21
 自助能力、監視システム、モラル、プライド

8 日本の政治で今、取り組むべきと思われる課題は何ですか(複数回答可)

- ①政治改革 109 (13.9%)
- ②行政改革 139 (17.7%)
- ③税制改革 109 (13.9%)
- ④外交 34 (4.3%)
- ⑤防衛 13 (1.7%)
- ⑥国連、国際協力 17 (2.2%)
- ⑦経済 48 (6.1%)
- ⑧福祉 90 (11.5%)
- ⑨環境、自然保護 81 (10.3%)
- ⑩教育、文化 34 (4.3%)
- ⑪住宅 59 (7.5%)
- ⑫都市整備 23 (2.9%)
- ⑬憲法 17 (2.2%)
- ⑭戦後処理 10 (1.2%)
- ⑮その他 3 (0.3%)

9 今の政治に対するご意見、暮らしの中の不満などをお聞かせ下さい

思い切った行政改革を 首相の短期交代の終了
官僚主導から政治主導へ 災害救助隊の設立
政策がない 女性が働きやすい環境
場当たり政党形成の排除 国際関係の正確の把握
国政に長期的ビジョンがない

10 支持政党がございましたらお聞かせ下さい

- 自民党 20
- さきがけ 27
- 新進党 10
- 共産党 6
- 社会党 2

ご協力ありがとうございました。

これまでの活動報告

◆リサイクル活動について◆

私どもはこれまでに環境保護を目的とした、リサイクル運動の一環として、アルミ缶、使用済み乾電池及びテレホンカードの回収を行なって参りました。そこで今回はこれまでの活動の中間報告をさせて頂きたいと思いません。

〈アルミ缶〉

回収されたアルミ缶は一個につき一円相当の図書券と交換することができます。これまでに約千七百円相当の図書券と交換することができました。これは誠に勝手ながら私どもで使い道を検討させて頂きます。

〈乾電池〉

回収された乾電池は処理工場に運ばれた後、鉄や水銀に分けられ再利用されています。

〈テレホンカード〉

これまでに約四百八十枚のテレホンカードが集まりました。これは、アジア・アフリカの植林運動を支援するために利用されます。

◆その他の活動について◆

〈夜回り〉

昨年の十二月下旬から今年の二月四日まで、毎晩十時から三十分間夜回りを行いました。多くのみなさまに声を掛けて頂き、大変力付けられました。

みなさま、ご協力ありがとうございました。これらの活動は今後も続けて参ります。引き続き、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さきがけニュース

さきがけ塾

第二期生募集！

みなさまのご意見、日頃感じていること、身近なニュースなどを下記までお気軽にお寄せ下さい

こさい太郎を育てる会事務局

〒107 港区南青山5-4-29

TEL 5485-9111

FAX 5485-9100

お手紙、お電話、FAXいずれも大歓迎です。また、直接お越し下さりお話し頂ければ、なお幸いです。

編集後記

四月に入り、各地から桜の便りが届く様になりました。みなさまのお手元に当紙が届く頃には、都内の桜も満開になっっていることと思います。桜の花はやがて散ってしましますが、その下には若い芽が顔を覗かせています。私どもの活動は、まだ花も咲いておりませんが、花が咲き、青葉の茂るまで、何卒ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

この写真は、今回の特集『アンケートの集計を終えて』の対談の様です。

(撮影：蜂谷博樹)